

(別添 4)

【鹿児島県和泊町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

文部科学省が示している「令和7年度以降の学校におけるICT環境の整備方針及び学校のICT環境整備3か年計画」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められています。具体的には、1人1台端末の導入により、児童生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた個別指導を推進します。また、主体的・対話的で深い学びを実現し、協働的な学びを通じて、コミュニケーション能力や問題解決能力の育成を図り、予測困難な時代を生き抜くために必要とされる資質・能力を養う。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のためには、ICT環境は必要不可欠な学習基盤であります。本町教育行政の重点施策「未来の社会の創り手となる資質・能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進」の中でも「教育の情報化の推進」を目指しています。このようなことから、児童生徒の資質・能力を育成し、未来を切り拓くための能力を伸ばしていくために、1人1台端末の利活用を図っていきます。

2. GIGA第1期の総括

第1期のGIGAスクール構想として本町では、令和2年度に児童生徒、教職員に1人1台端末を整備しました。また全学校に高速通信ネットワークを整備し、Wi-Fi環境の充実を図りGoogleWorkspaceなどクラウドの活用を推進してきました。学習の質の向上では、デジタル教材や学習支援アプリの活用による個別最適な学びに取り組むことができました。またGoogleWorkspaceや学習支援アプリを用いて、互いの考えを紹介したり、考えを整理・分類したりし、協働的な学びを進めている。その中で自分の考えを深化させたり、自他の考えの「よさ」に気付いたりする中で自己肯定感も向上させてきている。さらに、1人1台端末を用いて、写真や動画で学びを残すことで、児童生徒自らが、既習学習を生かしながら、新たな学習課題に取り組む姿も見られます。教職員への支援としてはICT支援員の配置や研修を行い、校務支援システムやグループウェアを活用した業務改善を推進しています。また、運営支援としては担当者がネットワーク関係等のトラブルに随時対応することができました。故障等の対応も代替機や保険での対応ができています。

3. 1人1台端末の利活用方策

本町では、1人1台端末の利活用を継続するため、代替機や保険で対応しており、令和8年度より端末の更新を順次行う予定であります。また、ICT支援員を継続して配置し教職員への支援、校内研修の実施や児童生徒の学習活動のサポートを引き続き行います。

AIドリルや学習支援アプリを活用し、児童生徒の学習履歴や理解度のデータを活用し「個別最適な学び」の実現を加速させ、自ら課題を見つけ、その解決に取り組む児童生

徒を育成していく。またクラウド上での共有ドキュメントやプレゼンテーションツールを活用して、編集や発表・交流を行うことで「協働的な学び」の充実を図っていきます。また1人1台端末を活用し、「児童生徒が自分で調べる授業」「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する授業」「教職員と児童生徒がやりとりする授業」等を行い、個別最適・協働的な学びの充実を図ります。

1人1台端末を活用して希望する不登校児童生徒への授業配信や、希望する児童生徒への教育相談等を実施します。